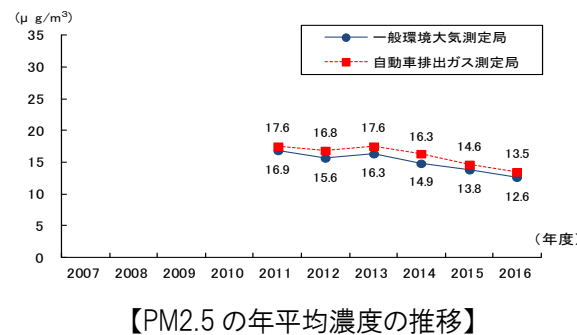
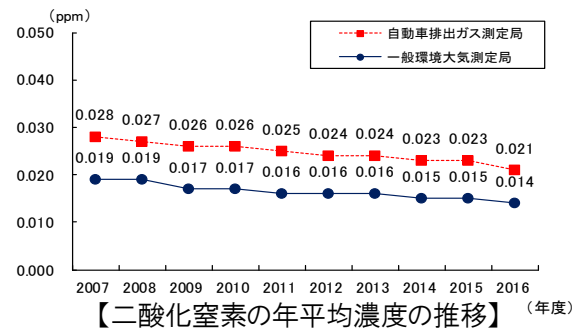


～府域の環境はおおむね安定的に推移しているが、大気における微小粒子状物質(PM2.5)や地球温暖化・ヒートアイランド関係など、引き続き対策が必要な項目もある～

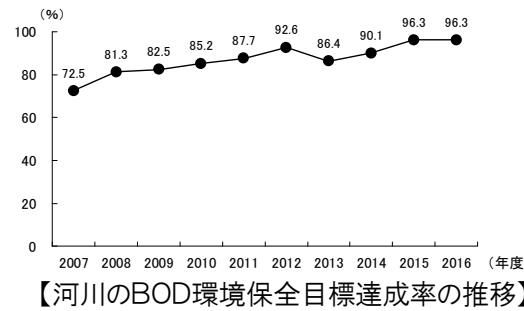
大気関係

○二酸化窒素の年間98%値は環境保全目標の上限値0.06ppmを下回るレベルに達し、年平均濃度も緩やかな改善傾向で推移している。微小粒子状物質(PM2.5)の2016年度における環境保全目標達成率は90.9%と、2015年度の34.5%から大幅に向上し、年平均濃度は緩やかな改善傾向で推移している。



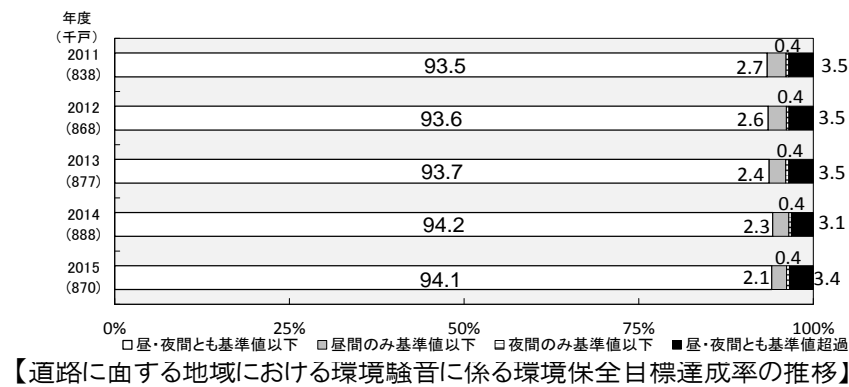
水質関係

○河川のBODは、概ね改善傾向にあり、2016年度の環境保全目標達成率は前年度と同じ96.3%である。大阪湾のCOD(全層平均の値)は近年緩やかな減少または横ばい傾向にあり、環境保全目標達成率は、前年度に34年ぶりに66.7%から75.0%に向上し、2016年度は前年度と同じ75.0%である。BOD・CODの環境基準達成率は過去最高水準を維持している。



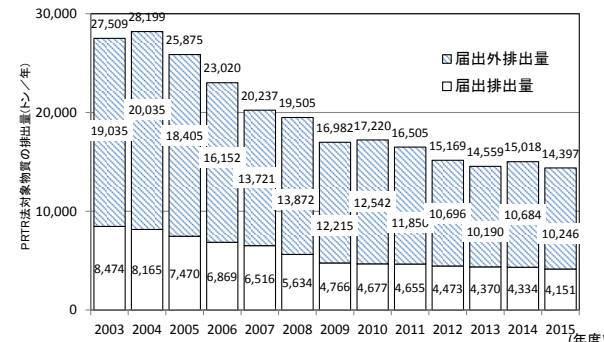
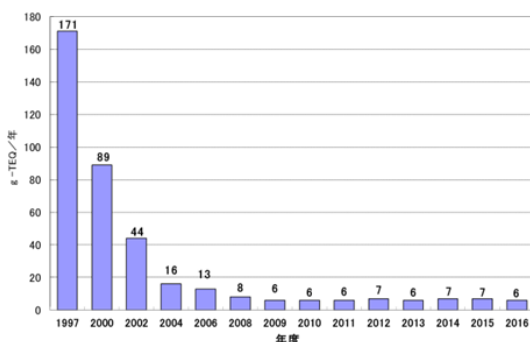
騒音関係

○道路沿道における環境保全目標の達成率は改善傾向にあり、2015年度は昼・夜間ともに目標値以下の住居等の割合は94.1%である。
※達成状況は、沿道に立地する住居等のうち、騒音レベルが目標値以下の住居等の割合を推計



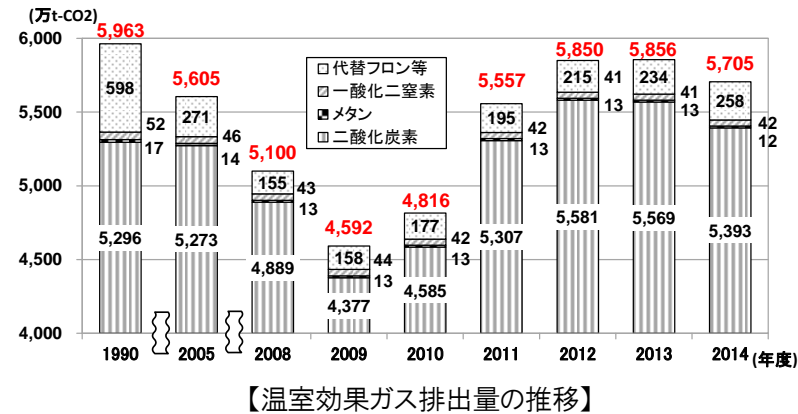
化学物質関係

○ダイオキシン類の排出量は、近年横ばいで推移している。
○府域におけるPRTR法対象の化学物質の排出量は着実に減少している。

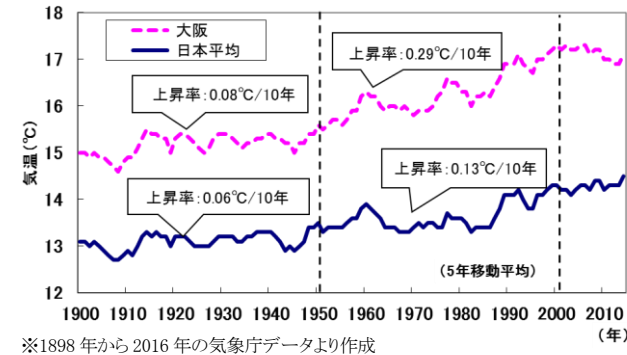


地球温暖化・ヒートアイランド関係

○温室効果ガスの排出量については、2014年度は、2013年度と比べ2.6%減少している。

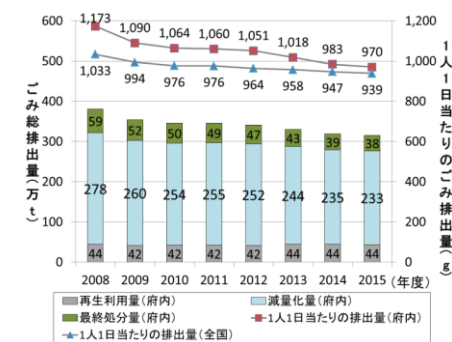


○年平均気温は、日本平均を上回る変化率で長期的に上昇している。



廃棄物の減量化・リサイクル関係

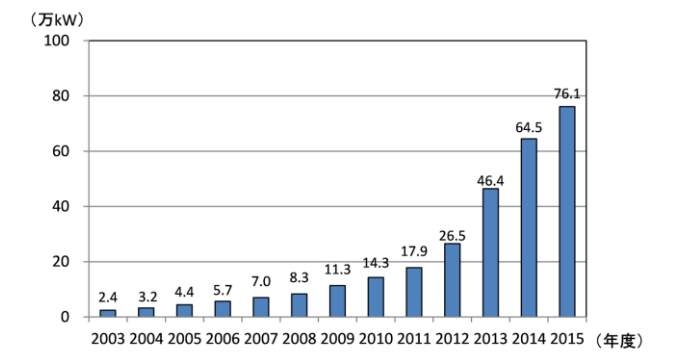
○府内における2015年度の1人1日当たりのごみ排出量は970g/人・日となっており、2008年度と比べ17.3% (203g/人・日) 減少している。



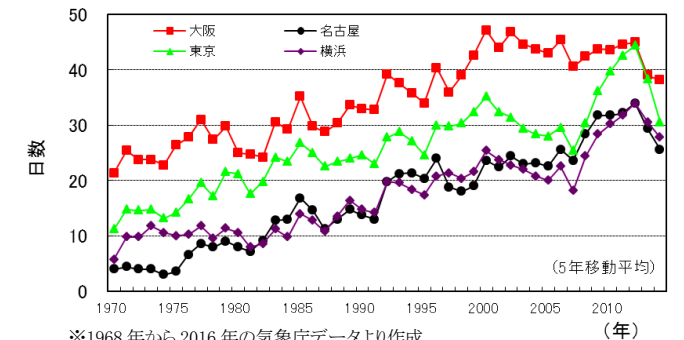
産業廃棄物の最終処分量等の推移

※1人1日当たりの排出量は外国人を含む人口を元に算出
※四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

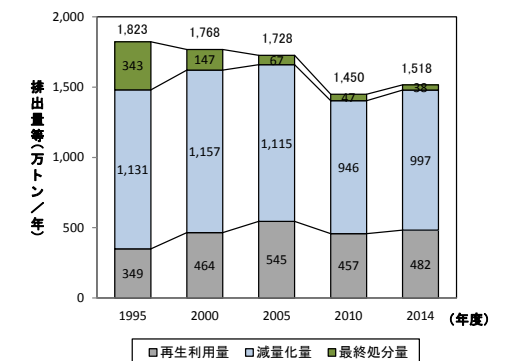
○太陽光発電設備の導入状況については、2015年度は76.1万kWであり、2014年度と比較し、18.0%増加している。



○大阪の熱帯夜数については、2000年(基準年)と比べ2014年は減少しているものの、長期的には依然多い状況である。
※熱帯夜: 夜間の最低気温が25°C以上のこと



○産業廃棄物については、2014年度の最終処分量は38万トンであり、2010年度と比べ19.3% (9万トン) 減少している。



産業廃棄物の最終処分量等の推移

※四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。